

研修会の御報告

「幼少期から言語聴覚士になるまで」

鷹の子病院 愛媛人工内耳リハビリテーションセンター
でんでんむし教室 言語聴覚士 渡辺 咲 先生

2月2日(土)に、今年度第2回目の特別支援教育地域支援事業における研修会を行いました。今回は、現在、鷹の子病院にある愛媛人工内耳リハビリテーションセンターでんでんむし教室で言語聴覚士として勤務しておられる渡辺咲先生に御講演をお願いいたしました。渡辺先生には、難聴者でもある御自身の生い立ちや経験から、いろいろとお話をさせていただきました。



講演では、御自身の小学校、中学校から高等学校、大学から専門学校、それぞれの時期で授業や友人関係で困ったことや悩んでいたことを、率直に語っていただきました。そしてそれを基に、本人のつまづきを探し配慮するという基本的な支援の在り方、FM補聴システムや座席の位置、視覚的な情報の必要性などの情報保障面、友人関係の大切さといった心理面でのサポートの重要性を示していただきました。



そして、「自分が聞こえないのが悪い。」「補聴器を着けていることが恥ずかしい。」という否定的な自己像を変えるきっかけになった友人との出会いや、家族のサポート、自分が得意なことを持っていたことがプラスになったということなど、具体的なエピソードを基に、教員や保護者に対するメッセージを述べられました。

見落としがちな難聴児への支援のポイントとして、学習面の支援も大切ですが、心理面や集団での関わりを中心とした学校生活の支援が重要であることを指摘していただきました。この研修で得られた気付きや学びを、今後の支援に生かしていきたいと思えます。

当日は、本校教職員の外に、保護者の方や地域の小学校の先生方合わせて19名にも申込をいただき、研修会に参加していただきました。また、渡辺先生には、この御講演の前に、授業を参観していただき、本校の人工内耳装用児を中心に授業の様子を御覧いただきました。先生には、愛媛の聴覚障がい児の生活や学びの環境の整備のために、今後の更なる連携をお願いいたしました。

電話リレーサービスとは？

【聞いたことがある言葉だけれど…】

電話リレーサービスとは・・・

聴覚障がい者と聞こえる人との 電話でのやり取りを仲介するサービス

・・・ですが、正直あまり馴染みがありません。ただ最近、みみちゃん担当者は、よくこの言葉を耳にします。そこで、電話リレーサービスについて勉強し直してみることにしました。

【電話リレーサービスの予備知識】

以前、みみちゃん 56号（2013年10月16日発行）で、右の記事を掲載したことがあります。日本では2000年に何社かがサービスを始めましたが採算が合わず、数年で停止になったそうです。ところが世界では・・・

日本財団よりお知らせ 「電話リレーサービスモニター募集！」

「電話リレーサービス」という言葉を聞いたことはありますか？

電話リレーサービスは電話へのアクセスを保障するために世界20カ国以上で公的サービスとして普及・定着していますが、残念ながら日本においてはまだそのような制度はありません（財団ホームページより）。

この度、日本財団では電話リレーサービスの試験サービスを実施することになりました。興味がある方は、ホームページを御覧いただくか、財団までお問い合わせください。



電話リレーサービスは、世界20カ国以上の国が、公共サービスとして行っています。アメリカでは1990年にADA法（障害を持つアメリカ人法）により、サービスの実施が義務付けられました。韓国やタイなどの国でもサービスが開始されています。

・・・だそうです。24時間に対応している国も多いらしいです。

【電話リレーサービスが必要な理由とは】

電話以外のメールやSNS等の通信手段が発達した現在では、必要性がないのでは、と感じる人も多いかもしれません。実際に、電話だけでなくメールやラインでの案内をしている宅配業者、インターネットで予約できる病院や飲食店は増えています。

それでも、電話しか手段がない場合はまだまだ多いです。そして・・・

電話は、世界で最も普及している通信機器であり、利用できないこと自体が大きな社会的不利益を被ります。電話リレーサービスは、電話の「即時性」や「双方向性」などの特性を生かせるので、聞こえる人と同じ手間や条件で用事を済ませられます。

・・・ということがいえます。また、電話ができないことで、命にかかわる場合もあります（映画「ゆずり葉」にもそういうシーンがありました）。最近、電話リレーサービスが注目されるようになったのは、昨年10月の北アルプス・奥穂高岳での遭難事故でした。遭難したのは聴覚障がい者で、警察や消防に直接電話ができないため、頼ったのが民間の電話リレーサービスだったということです。そのときに、現在のサービスの不備が明らかになり、国は今年1月に、運営方法や法整備のため、専門家や通信会社から成る検討会を設けました。

【電話リレーサービスの使い方・日本財団のサービス】

1 利用者登録をする

身体障害者手帳を持っている人に限り登録ができます。日本財団電話リレーサービスモデルプロジェクトのホームページにある「利用申請ページ」から申し込みます。

2 機器の準備

インターネットに接続されたパソコンやスマートフォン、タブレットを使います。

3 利用する

日本財団電話リレーサービス専用システムにアクセスします。利用者（聴覚障がい者）は、オペレーターに手話や文字の入力で用件を伝えます。オペレーターは、相手先（聞こえる人）と電話で会話し、相手先の話の内容を、その都度利用者に手話や文字で伝えます。



4 料金

利用者は通信料のみ。通訳料、相手先との電話の通話料の負担はありません。

【電話リレーサービスの今後】

現在、日本財団のモデルプロジェクトは、12道府県7団体が行っています。愛媛にはなく、愛媛からこのサービスを利用する場合は他県のセンターに依頼します。公共サービスとして整備するには課題も多いです。パソコンやスマートフォンが必要ですので、機器に慣れなければならず、年配の方などは利用しにくいと感じるかもしれません。また何よりも・・・

このサービスがあまり知られていないということが問題です！

・・・で、実際に利用したことがある本校のS先生がこんなことを・・・

S先生の話

- 実家と子供が通う小学校に連絡することがあり、利用しました。実家の方は「オレオレ詐欺」かと疑われ、小学校の方も状況を理解してもらえず不審に思われました。結局どちらも誤解は解けましたが、このサービスがあまり知られていないことを痛感しました。
- 身内相手なら使用しないかもしれませんが、学校への連絡や病院の予約等、利用価値は高いと思いました。小学校の方は、私が聴覚障がい者であることを知っている学級担任の先生が電話を代わると、後はスムーズでした。子供は「ママ（聴者）じゃなくパパが先生と電話で話した」と嬉しそうでした。父親が学校に電話することが新鮮だったようです。
- 全国各地にある複数のサービスセンターは、どこに依頼するかは利用者が選択できますが、手話表現の違い（方言）の問題で、うまく伝わらない場合もあるかもしれません。解決するためには、最低、県ごとにサービスセンターを設置する必要があると思います。

・・・とのこと。様々な問題はありますが、今後の電話リレーサービスの整備に期待です。

※ 注意 … 現在のこのサービスは、2019年3月31日までとのことです。

※ この記事は、以下のホームページと資料を参照して作成しました。

- ・ 全日本ろうあ連盟「電話リレーサービス普及啓発推進事業」
- ・ 日本財団「日本財団電話リレーサービス・モデルプロジェクト」（本ページの図も）
- ・ NHKハートネット「聴覚障害者の大きな悩み「電話ができない」を解決!？」
- ・ 情報通信研究機構（NICT）「情報バリアフリーのための情報提供サイト」
- ・ 電話通信サービスのユニバーサル化を考える大学習会（全日本ろうあ連盟主催・2018.2.16）資料「国内外における電話リレーサービスの現状」筑波技術大学 井上 正之 先生

「耳の日の集い」のお知らせです！

耳の日の集い



講演 「難聴について知ろう！
認知症との意外な関係とその予防」
愛媛大学医学部 耳鼻咽喉科医師 寺岡正人先生

参加費無料

日時 2019年3月3日(日) 10:00~15:00
場所 松山市総合福祉センター (松山市若草町8-2)

主催: 「みみの会」えひめ県難聴者連合会
協賛: アズマ補聴器センター松山はなみずき店
佐川印刷株式会社
協力: 松山市障害者団体連絡協議会
愛媛要約筆記サークル・オリーブの会
松山市ボランティア連絡協議会 NPO 法人「花」
Halau Hula O Hokulani Dog for Life Japan
後援: 松山市 松山市医師会 松山市社会福祉協議会
愛媛県要約筆記サークル連絡協議会



「みみの会」えひめ県難聴者連合会

私たちは、平成29年7月 聴覚障がい者の暮らしやすい社会を実現するため「みんなの声を一つに」を合言葉に、各地域の団体や個人が交流しながら、様々な課題に取り組む『みみの会』を設立しました。県内の難聴者、ろう者、中途失聴者及びその家族と一緒に語り合い大切な人を支える懸け橋となるオアシスを目指しています。



☆1階大会議室イベント☆

- 10:00~ 伊豫之國松山水軍太鼓 雅舞(がむ)
- 10:10~ 開会式 主催者挨拶 ご来賓祝辞
- 10:30~ 講演 愛大医学部耳鼻咽喉科 寺岡先生
- 11:40~ 聴覚障がい者体験談「私たちの声を聞いて下さい」
- 13:00~14:00 ★Halau Hula O Hokulani フラダンス ★鳥一夫 歌謡ショー ★手話コーラス

☆体験スタンプラリー☆

- 盲ろう体験、聴力測定 **スタンプで**
- 携帯ホワイトボード作り **プレゼント**
- 聞こえない体験・筆談など **GET!**

☆☆その他1階ロビーなど☆☆

- ◎「みみの会」相談ブース(日ごろの悩みを何でもご相談ください)
- ◎聴導犬コーナー(聞こえを助けてくれる補助犬を知っていますか)
- ◎携帯を使っの簡単文字コミュニケーション「UDトーク体験」
- ◎楽しいパルーンアート教室(ふうせんで色々作ろう)



☆お食事&カフェコーナー

- (100~300円)
- カレー、焼きそば、クッキー
- マドレーヌ、100円コーヒーなど

要約筆記・手話通訳・大会議室には、磁気ループなどの情報保障があり、聞こえに不安のある方も安心してご参加いただけます。

※当日は臨時駐車場をご用意しておりますが、限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
「みみの会」えひめ県難聴者連合会
メール pochirin-n@gol.com FAX 089-921-0055
うさぎのわ URL http://usaginowa.com

編集後記 電話リレーサービスの記事を書くために、S先生といろいろ話をしていたら、S先生が「それから、空港にもありますね」と一言。これは、「手話フォン」という手話対応型公衆電話ボックスで、聴覚障がい者は誰でも利用できるということです。現在、4カ所の空港(羽田、成田、新千歳、福岡)と、筑波技術大学、そして兵庫県の明石市民広場(明石駅ビル内)の計6カ所にあります。これらのところに行かれる機会があれば、是非、本物を見てください。